貝塚市社協ホームページ

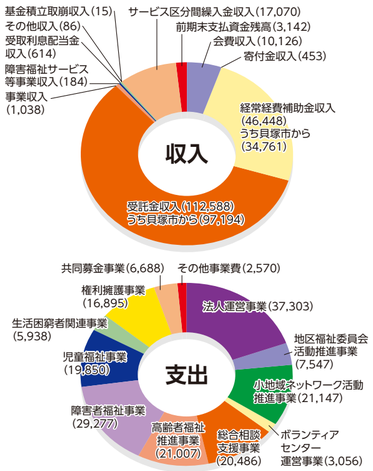
社協かいづか

第259号

編集・発行：社会福祉法人 貝塚市社会福祉協議会　年6回発行（奇数月）
〒597-0072 貝塚市畠中1-18-8 保健・福祉合同庁舎3F ☎072-439-0294 ホームページ http://park11.wakwak.com/~k-shakyo/

決算について

令和６年度一般会計決算　191,764千円
（サービス区分間繰入17,070千円含む）



貝塚市からの補助金・受託金　（千円）

一般運営費	14,040
小地域ネットワーク活動推進事業費	15,159
日常生活自立支援事業費	3,727
ふれあい喫茶運営	1,785
ふれあい訪問	50
コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	15,750
重層的支援体制整備事業	4,736
生活支援コーディネーター事業	20,000
子育て支援センター	11,961
一時預かり事業	2,979
ファミリーサポートセンター事業	4,360
基幹相談支援センター(者)	19,127
基幹相談支援センター(児)	9,925
家計改善支援事業	4,398
成年後見制度利用支援事業	3,958

「魅力かがやき あたたかい 絆のあるまち」をめざして

6月6日に理事会、6月24日に評議員会を開催し、令和６年度事業報告・決算を認定しました。

事業報告について

本年度は、本会の活動指針である「第5次地域福祉活動計画」（5ヵ年計画）の2年目にあたり、その基本理念である「魅力かがやき あたたかい絆のあるまち 貝塚」の実現に向けて、地域住民や福祉活動を行う関係団体と連携を緊密に図りながら、地域福祉の推進に取り組みました。

小地域ネットワーク活動
見守り、声かけなどの個別援助を11,945回実施。また、いきいきサロンなどグループ援助を759回実施。

地区福祉委員会活動
身近な福祉課題の解決に向けて、地域の特性を生かした様々な活動に取り組みました。

ふれあい訪問事業
地区福祉委員会の協力で、約190名のひとり暮らし高齢者などへの見守りを目的に年間21回実施。
日用品や食料品、市内の障害（児）者施設・作業所の菓子や授産製品などをお届けして、声かけ、見守りを実施。

ボランティアセンター事業
保育ボランティアや福祉施設ボランティアへの派遣調整のほか、講座や研修による学習を実施。
また、ボランティア活動パネル展を開催し、活動について啓発。
ボランティアフェスティバルin貝塚を開催し、ボランティアや関係者など約600名が参加、交流。

移送サービス事業
移動が困難な高齢者や障害者等を対象に実施。2台の送迎車輌を運行し、延べ750回の利用。

高齢者等安否確認事業
ひとり暮らし高齢者等を対象に、ボランティアによる電話での安否確認を実施。利用登録者は15名。

日常生活自立支援事業
判断能力が十分でない方が、地域で自立した生活をおくれるよう支援し、74名の契約者にきめ細かいサポートを実施。

成年後見制度中核機関開設準備業務
令和6年10月、貝塚市から委託を受け、高齢者や障害のある方の権利擁護のための成年後見制度中核機関準備委員会を立ち上げ、令和7年10月開設予定。

子育て支援関連事業
ファミリーサポート事業では、856件の支援を行い、講座・交流会を12回開催。
子育て支援センター事業では、つどいの広場を延べ5460名が利用。一時預かり事業では、延べ444名が利用。

コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業
様々な生活課題を抱えるかたを諸制度や専門機関につなぐ専門職を配置。
特に、アウトリーチや地域づくりを一体的に行うための「拡大地域ケア会議」を延べ359回開催。

重層的支援体制整備事業
令和6年8月、貝塚市から委託を受け、地域づくり支援事業とアウトリーチ等を通じた継続的支援事業を実施。

障害者基幹相談支援センター
令和6年4月、貝塚市から障害児相談支援事業の委託を受け、18歳以下の方にも対象を広げた。障害に関する総合相談や専門相談、個別相談182名をはじめ、地域の相談支援体制の強化の取り組み、地域移行・地域定着、権利擁護・虐待防止、障害者自立支援協議会の運営支援などを実施。

生活支援コーディネーター配置事業
高齢者の生活支援・介護予防のために関係者間のネットワークづくりなどに取り組んだ。「社会資源ハンドブック」の更新、移動販売車との連絡調整、担い手の育成などを実施。

啓発宣伝
機関紙「社協かいづか」を年6回全戸配布し、あわせて視覚障害者向け音声版「声の広報」を発行。ホームページの充実を図った。

第30回社会福祉総会
令和6年11月30日、市民福祉センターで開催。功労者表彰や講演を実施。関係者140名が参加。

財源の確保
○社協会員会費収入
1012万6千円。
○共同募金
609万4千円の実績をあげ、516万9千円の配分助成を受けた。
○歳末たすけあい募金
155万1千円の実績をあげ、151万9千円の配分助成を受けた。

生活福祉資金貸付事業
福祉資金6件、教育支援資金23件、緊急小口資金4件申請を受付。また令和4年に終了した新型コロナウイルス感染症特例貸付の償還猶予・償還免除等の相談を424件受付。

照準

「4番サード長嶋、背番号3」このアナウンスのフレーズがいまだに忘れられません。小学生の頃からのファンで、憧れの存在。いつも明るく夢を与えてくれた。日本のプロ野球のシンボル、国民的ヒーロー『長嶋茂雄』さんが逝去した◆ふと新聞に目をやると「少子化加速、出生率最低1.15。出生数初の70万人割れ」の見出し。厚生労働省の令和6年の人口動態統計によると、出生数は68万6061人で、1899年の統計開始以来初めて70万人を下回り、9年連続で過去最少を更新。1人の女性が生涯に産む子どもの数を示す「合計特殊出生率」も過去最低の1.15。婚姻数は90年ぶりに50万組を下回った。前年より2.2%増えたものの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には、戻っていない◆1980～90年代に出生数の減少が続いたことで現在の出産の中心世代である20～30歳代の女性の数も減っている。さらに「晩婚化」、「晩産化」の傾向が少子化に拍車をかける◆日本も引き続き子育て環境を整備し、経済的支援はもちろん、子育てしながら働きやすい環境づくりや福祉サービスの充実が必要だ。そして、長嶋選手が活躍したあの時代のようなあたたかみのある地域社会でありたいと思う◆『燃える男』の勝負強さと、太陽のような明るさ。ミスター長嶋は永久に不滅です。心からご冥福をお祈りします。（M）

活動しています

自分のペースで少しずつ

貝塚市音訳奉仕会　畑　和枝

視覚障害の方に広報かいづか等の情報提供や図書本を音声でお届けする活動をしています。
音訳奉仕員養成講習会を修了してからもう20数年が経ちました。
自分のための読書の時には、読みが正確でなくても、また意味も何となく…となりますが、声にするには正確な読みを調べ、必要な時にはどのような字を書くのか、その意味も注釈として加えます。

下読みをし、標準語のアクセントを調べ、何回か声に出して読み、マイクの前に向かいます。
私の場合、図書本で1回に読めるのは20ページほどなので、一冊を仕上げるのに1年近くを要します。
その後、校正をしていただくのですが、読み間違い、アクセントの誤り等の指摘の多さに、「下調べもしたのに」と自分の至らなさに落ち込むばかりです。
利用者の方にどのように届いているかは、あまり知ることはないのですが、利用者の方から「読んでくれていたね」とお声をかけていただいたときは喜びです。
自分では手にしないジャンルの本に出合うことも楽しみです。
孤独な地道な作業ですが、少しでもお役に立っているのであれば、うれしく思います。また、声を出すことは老いの防止にも良いことだと聞きます。これからも自分のペースで続けていけたらと思っています。

令和７年度　社協会員募集

会員（愛称：いきいきサポーター）になって地域福祉活動を応援してください!!

貝塚市社会福祉協議会（略して「社協」）は、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすため、住民自身による“福祉のまちづくり”を推進するための民間団体です。
きめ細かな地域福祉活動を継続して行うためには、安定した活動資金を確保することが必要です。
会員募集に、みなさまのご協力をお願いします。

会費（年額）
- 一般会員（1口）1,000円
- 賛助会員（1口）5,000円

※個別にご協力いただく場合の申込方法
①窓口申込：社協事務局で受付しております。
②ゆうちょ銀行口座名義：社会福祉法人 貝塚市社会福祉協議会
口座番号：00930-3-174735
＊振替用紙の通信欄に「氏名、住所、（校区名）、連絡先」をご記入ください。（校区名をご記入いただいた場合は、校区に70％還元いたします）

会費の使いみち

地区福祉委員会（70％）
- 独自ふれあい訪問
- 地域の環境美化運動
- 登下校時の子どもの見守り
- 防災研修・防災訓練の実施
- 福祉委員会だよりの発行
- 校区ボランティアの育成
- 青少年・障害者など分野別研修会
- 小地域ネットワーク活動の推進（いきいきサロン活動・見守り・声かけ活動など）　ほか

いきいきサロン

市社協（30％）
- ふれあい訪問事業
- 移送サービス事業
- 高齢者等安否確認事業（あんしんコール）
- 車椅子・擬似体験装具の貸し出し
- ボランティアセンターの運営
- 学童ボランティアの育成
- 障害者団体等へ事業費助成
- 地域福祉活動計画事業の推進
- 広報紙の発行　ほか

あんしんコール事業

貝塚市社協理事・評議員の選任について（ご報告）

任期満了に伴い、理事・監事・評議員が選任され、令和7年6月24日開催の理事会において、会長・副会長が選任されました。

理事・監事名簿　〈敬称略〉　（任期：令和7年6月24日～令和9年6月）

NO	役職名	氏　名	選出母体
1	会長	兒玉　和憲	学識経験者
2	副会長	甘佐　勉	町会連合会
3	〃	太田　新二	民生・児童委員協議会
4	理事	塔筋　寛	福祉事務所
5	〃	南　敏章	更生保護団体
6	〃	成川　幸子	地区福祉委員会（二色）
7	〃	文野　春美	地区福祉委員会（葛城）
8	理事	窪堀　明	福祉施設
9	〃	日比野　孝正	社協ボランティア連絡会
10	〃	藤原　千里	障害者団体
11	〃	喜夛　宗治	学識経験者
12	〃	奥野　弘詞	事務局
1	監事	田口　冨雄	学識経験者
2	〃	松田　隆信	学識経験者

評議員名簿　〈敬称略〉　（任期：令和7年6月24日～令和11年6月）

NO	役職名	氏　名	選出母体
1	評議員	福原　正雄	地区福祉委員会（東）
2	〃	田中　学	地区福祉委員会（西）
3	〃	梶本　和代	地区福祉委員会（南）
4	〃	木引　富佐夫	地区福祉委員会（北）
5	〃	石川　征子	地区福祉委員会（津田）
6	〃	真利　一朗	地区福祉委員会（中央）
7	〃	片山　正弘	地区福祉委員会（木島）
8	〃	楠本　明子	地区福祉委員会（東山）
9	〃	畑中　欽也	町会連合会
10	〃	西田　陽	商工会議所
11	〃	小野木　光明	民生・児童委員協議会
12	〃	中谷　淺子	民生・児童委員協議会
13	〃	黒井　政信	民生・児童委員協議会
14	〃	谷口　京子	民生・児童委員協議会
15	〃	日野　寿美栄	福祉事務所
16	評議員	撫　啓子	社協ボランティア連絡会
17	〃	大畠　しげ子	校区ボランティア部会連絡会
18	〃	安田　勝美	更生保護団体
19	〃	髙田　テルミ	福祉施設
20	〃	川上　隆弘	福祉施設
21	〃	鷲尾　伸子	障害者団体
22	〃	明海　滋夫	老人クラブ連合会
23	〃	南　敬子	母子寡婦福祉新生会
24	〃	西出　和子	遺族会
25	〃	山本　照夫	青少年指導員連絡協議会
26	〃	北出　昭	人権協会
27	〃	貴志　幸司	校園長会
28	〃	大田　孝	学識経験者
29	〃	新谷　洋二	学識経験者

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です
「献血で　あなたは誰かの　ヒーローに」

毎年７月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。本運動を通じて、国民一人ひとり、特に若い世代に献血へのご理解とご協力を呼びかけます。献血は命を救う身近なボランティアです。
ぜひ、献血のご協力をお願いいたします。

献血の安全性を高めるため、400mLの献血が求められています。
対象は男性17～60歳・女性18～60歳で、いずれも体重50kg以上のかたです。

愛の献血
日付：7月19日（土）
場所：イオン貝塚
時間：10時～12時
　　13時～16時30分
日付：9月6日（土）
場所：コープ貝塚
時間：10時～12時
　　13時～16時30分

問合せ先　社会福祉協議会　☎439-0294

WAKIHAMA わきはまこども園
幼保連携型認定こども園
TEL:072-431-2151 FAX:072-431-2150

家族的なぬくもりの中で思いやりの心が芽吹きます。
OOZORA おおぞらこども園
幼保連携型認定こども園
〒597-0091 大阪府貝塚市二色２丁目11－1
TEL:072-432-5222 FAX:072-432-6780

「安心・信頼・満足」して頂けるサービスを
SINCE 1977 ■貝塚誠心園
貝塚市森 1103-2
TEL.072-446-8022
◆特別養護老人ホーム
◆ショートステイ
◆ケアプランセンター
◆診療所
SINCE 2007 ■高齢者地域福祉施設 きしまの里
貝塚市三ツ松 869-1
TEL.072-446-8200
◆地域密着型特別養護老人ホーム（ユニット型個室）
◆ユニット型ショートステイ（ユニット型個室）
◆デイサービスセンター
◆グループホーム
◆診療所
社会福祉法人貝塚誠心園
http://seishinen.com

目が見えない見えにくい方へ
私たちと一緒に新しい世界で活動しませんか
健康増進に役立つスポーツや人との交流が
広がるカラオケ等、視力がなくても楽しく
参加できますよ！
貝塚市視覚障害者協会
事務局：貝塚市役所　障害福祉課内
問合せ先：井上 誠一（役員）
TEL　090-1025-0472